



2025～26 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT
NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第 2172 回



2026 年 6 月 13 日 (土) ～17 日 (水) ロータリー国際大会 (台湾：台北)

2026 年 6 月 08 日

◆ゲスト紹介

上山 洋文様 (幼化°シー チャイワン 代表取締役)

◆ビジター紹介 (6/15)

〔鹿 屋 RC〕 延時幸子さん、松下和夫さん
〔かのや東 RC〕 久留正嗣さん、井高知篤さん
森 健一さん、飯隈章一郎さん

◆会務報告

- 第 61 回インターアクト年次大会開催のご案内
日時：2026 年 8 月 8 日(土)9：30～9 日(日)12 時
場所：宮崎県青島青少年自然の家
- 「2026 公共イメージ向上セミナー」開催のご案内
ロータリーの体験を、社会に届くストーリーへ
日時：2026 年 7 月 26 日(日)13 時～16 時
場所：ZOOM オンライン
- 国際ロータリー第 3661 地区インターアクト
生との交流懇親会のご案内
日時：2026 年 7 月 26 日(日)13：30～17：30
会場：都城ロイヤルホテル
- ハイライトよねやま Vol.315
- 令和 8 年度かのや夏祭り賛助金をお願い
- 2025-26 年度第 6 回奉仕プロジェクト部門勉強会 (Zoom) のご案内 (再)
- 地区ロータリー財団・補助金管理セミナー開催のご案内
日時：2026 年 8 月 2 日(日)13：00～16：00
場所：メインホテル
- 風の便り Vol.11 No.10
- 「サマーベースキャンプ 2026」へのスタッフ
募集及び物品の寄付について (依頼)
- 週報 …… かのや東 RC

◆6 月誕生者祝



王谷英仁さん、竹之内義文さん、西丸晴彦さん

◆出席表彰 (皆勤)



志村正子さん (11 年) 梅北健一さん (8 年)

入会式



西 幸博さん (職業・親睦)

会長の時間

会長 久木田 弘さん

皆さん、こんにちは。
先週の例会では、高須海岸清掃活動を実施いたしました。ご参加いただきました皆様に、心より御礼申し



次回プログラム		
6 月 29 日 (月)		
卓 話 者：	会長・幹事	
担当委員会：	会長・幹事	
3分間スピーチ：	—	
会 員 数	(36) 39 名	
出席報告出席数	32 名	
出席率	88.89 %	

メイクアップ情報			
鹿 屋	06月24日	(水)	ホテルこぼやし
かのや東	06月25日	(木)	かのやグランドホテル
串 良	06月22日	(月)	セントラント°道の駅
志 布 志	06月23日	(火)	大黒リゾートホテル
き も つ き	06月24日	(水)	高山温泉ドーム 第4週：例会なし
南九州大崎	06月25日	(木)	セントラント°道の駅 特別休会
志布志みなと	06月24日	(水)	大黒リゾートホテル 時間変更19：30～

鹿屋西ロータリークラブ	
会 長：	久木田 弘
副会長：	山崎 隆夫
幹 事：	西ノ原庄一
例会日	月曜日 12:30～13:30
例会場	ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局	〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
	ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail	kanoya24@po5.synapse.ne.jp



上げます。当日は曇り空ではありましたが、鹿屋中央高校・鹿屋工業高校のインターアクトの皆さんをはじめ、多くの学生の皆さんのご協力をいただき、無事に海岸清掃を行うことができました。

改めて感謝申し上げます。

また、この事業の企画・運営にご尽力いただきました社会奉仕委員長の遠矢さん、青少年奉仕委員長の早川さん、そして回収したごみの運搬・処理にご協力いただいた前田建治さんにも、心から感謝申し上げます。皆様のお力添えのおかげで、大変意義のある奉仕活動となりました。

さらに前日には、大隅カントリークラブにおいて「東部グループ 8 ロータリークラブ親睦ゴルフ大会」が開催されました。晴天にも恵まれ、44 名の参加のもと、親睦を深める有意義な大会となりました。大会の企画・運営を担っていただいた久永さんには、大変お疲れ様でしたと申し上げるとともに、ご参加いただいた会員の皆様にも心より御礼申し上げます。ロータリーにおいて親睦は奉仕の原動力であり、このような交流の機会がクラブの結束をさらに強めるものと感じております。

さて本日は例会体験に上山さんにお越し頂いています。点鐘や国歌斉唱などが有り、おそらくえらい所に来てしまったと思われていらっしゃるのではないかと思います。国歌斉唱は月初めだけ歌うことになっています。緊張されていると思います。どうぞリラックスしてください。

ところで上山さんに質問を致します。自分が思うこととほぼ同じであれば両手で大きな○をして、違う時は両手で×をしてください。まず第 1 問:色々な人と話したりするのは好きな方である

第 2 問:仲間と共に作業することは好きな方である
ありがとうございます。

上山さんロータリーに向いています。

私の任期も今月まで例会もあと 2 回だけになりました。任期中の入会をお待ちしています。

さて 6 月はロータリーの「親睦活動月間」です。親睦という言葉を知ると、「飲み会」「日本酒会」「ゴルフ」「観桜会」「観月会」「家族会」などを思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、ロータリーにおける親睦とは、それだけではありません。ロータリー創設者ポール・ハリスは、シカゴで孤独を感じていた若い事業家たちが友情を育むためにロータリーを始めました。

つまり、ロータリーの原点は「友情」だったのです。もしロータリーから親睦を取り除いたら何が残る

でしょうか。

確かに奉仕活動は残るでしょう。しかしその活動は義務や作業になってしまうかもしれません。

反対に、親睦だけで奉仕がなければ、ただの仲良しクラブになってしまいます。

ロータリーが世界中で 120 年以上続いている理由は、この二つが絶妙なバランスで結び付いているからだと思います。

親睦と奉仕は車の両輪だと思っています。

どちらか一方だけでは前に進むことはできません。

私たち鹿屋西ロータリークラブも同じです。

高須海岸清掃活動では、終わった後の達成感や笑顔は格別でした。あの活動を通じて海岸をきれいにしただけではありません。お互いの絆も深めていたのです。奉仕を通じて親睦が生まれ、親睦があるから奉仕がさらに楽しくなる。一緒に汗を流し、一緒に笑い、一緒に誰かのために行動する。その経験が友情を育てます。そして友情がさらに大きな奉仕へとつながっていくと思います。

今年度、私は会長方針として「よいことのために広げよう 楽しもうロータリーを」を掲げました。楽しむという言葉を入れたのには理由があります。楽しいところには人が集まり、人が集まれば仲間が増えます。仲間が増えれば奉仕の力も大きくなります。つまり、親睦は会員増強にもつながる重要な要素だと思います。

新しい会員の方が入会された時、まず必要なのはロータリーの知識ではありません。「ここに来ると楽しい」「この仲間と一緒に活動したい」そう感じてもらうことだと思います。その気持ちが育てば、自然と奉仕の心も育っていきます。

今年度も残りわずかとなりました。

今週には台湾国際大会への参加も控えています。国内外のロータリアンや龍潭ロータリークラブとの交流を通じて、新たな友情を築き、さらに奉仕の輪を広げていきたいと思っています。

付け加えますが、今回台湾に行かれる方は 6 月 11 日から入国手続きがオンラインで出来ますので必ず登録をお願い致します。6 月 5 日のグループ LINE をお確かめ下さい。

最後に、ロータリーの魅力を一言で表すなら、「一人ではできない良いことを、仲間と一緒に楽しみながら行える場所」だと思っています。親睦は目的ではなく、より大きな奉仕を実現するための力です。そして奉仕は、その友情をさらに深める最高の機会です。どうかこれからも親睦を大切にしながら、共に奉仕の輪を広げていきましょう。

そして上山さん、来月もここに座っていただけることを、会員一同楽しみにしております。ご清聴ありがとうございました。

一年間を振り返って

クラブ管理運営 下茂正和さん

親睦委員会、クラブラーニング委員会、出席委員会、プログラム委員会4委員会を担当しました。クラブ協議会の時に話しさせていただきました



が、親睦委員会において委員長、副委員長が途中で退会不在となり心配しましたが、残った委員で協議され假屋さんの方が委員長として、その後の事業を滞りなく務めていただきました。また、その親睦委員会においては、今年度は3クラブ合同での観桜会も主幹として担当してもらい対外的にもご苦労頂いたと思っております。また、クラブラーニング委員会におきましては、昨年を引き続き、研修会の方を2ヶ月に一度のペースで開催して頂き、外部から講師をお呼びしていただき、有意義な勉強会ができたのではないかと思います。出席委員会においては、当クラブの出席の向上に努めると共に関連する事業についても出席率が上がるよう努めていただきました。プログラム委員長としては、会員の皆さんに助けられた1年でした。卓話また3分間のスピーチと急な変更等があった時にも快く次の代わりを務めていただきました。有難うございました。

1年間大変勉強になりました。



会員増強委員会 一年の反省

皆様、こんにちは。会員増強委員会として、この一年を振り返り、反省と今後への思いを述べさせていただきます。

今年度、私は卓話の中で、会員増強は単なる「数の問題」ではなく、鹿屋西ロータリークラブの将来、そして存続に関わる大切な課題であるとお話ししました。会員数の減少や会員の高齢化、役員のなり手不足は、多くのクラブに共通する課題です。私たちのクラブも、今のままでよいのか、十年後も活気あるクラブであり続けられるのかを、一人ひとりが真剣に考えなければならない時期に来ていると思います。そのような思いから、「誰かがやるだろう」ではな

西丸晴彦さん



く、会員一人ひとりが身近な方に声をかけることが大切であるとお伝えしてきました。

しかし、委員会としての一年を振り返りますと、私自身も含め、言葉で呼びかけることに留まり、実際の行動につなげる仕組みづくりが十分ではなかったと反省しております。

「この人と一緒に活動したい」「この人ならロータリーの仲間として共に地域に貢献できる」と思える方は、皆様の周りに必ずおられると思います。それにもかかわらず、ロータリーの魅力を十分に伝えられなかったこと、例会や活動にお誘いするきっかけを十分につくれなかったことは、委員会の大きな課題でありました。

また、会員増強という、どうしても新しい会員を増やすことに意識が向きがちですが、入会していただいた方、そして現在の会員の皆様が「このクラブにいて良かった」「ここに来ると楽しい」「自分の居場所がある」と感じられる雰囲気づくりも、同じくらい重要であります。

新しい方に入っていただいても、居心地が悪く、活動の意義や楽しさを感じられなければ、継続にはつながりません。退会防止という視点について、委員会としてもっと踏み込んだ取組が必要であったと感じています。

具体的には、会員の皆様から候補となる方のお名前を挙げていただく機会をつくること、気軽に参加できる例会や交流の場にお招きすること、そして入会後に既存会員が積極的に声をかけ、活動に溶け込めるよう支えることまで、継続的な流れとして取り組む必要がありました。

この点は、次年度へしっかりとつなげていかなければならない反省点であります。

一方で、今年一年を通じて、会員増強は委員会だけが背負うものではなく、クラブ全体で取り組むべき課題であるという意識を、少しでも共有できたのであれば、それは一つの成果ではないかと思います。ロータリーの魅力は、単に会合に参加することではありません。異なる立場や経験を持つ方々との出会いがあり、学びがあり、地域のために行動できることにあります。そして、志を同じくする仲間とのつながりは、人生を豊かにする大きな財産になると思います。

今後に向けて大切なことは、難しく考え過ぎず、まずは一人が一人に声をかけることだと思えます。「一度、例会に来てみませんか」「私たちと一緒に活動してみませんか」と自然に声をかけることから始まります。全員がその一歩を踏み出せ

ば、それは大きな力となり、クラブの未来を支える確かな取組になります。

今年度、十分な成果を上げることができなかった点については、担当する立場として責任を感じております。しかし、この一年の反省を反省だけで終わらせず、次年度以降の会員増強、そしてより魅力あるクラブづくりにつなげていくことが大切です。

最後になりますが、会員増強委員会の活動にご理解とご協力をいただきました会員の皆様に、心より感謝申し上げます。これからも、鹿屋西ロータリークラブが、地域に必要とされ、会員にとって誇りと喜びを感じられるクラブであり続けるために、皆様とともに歩んでいきたいと思ひます。一年間、誠にありがとうございました。



山下俊也さん

一年を振り返って

公共イメージ委員長を務めました山下です。

広報メディア・IT委員会としては4つの計画を立てました

が上手くいきませんでした。申し訳ありません。具体的に

1. My ROTARYの登録率は新会員への周知が徹底されず約3%減少しました。現状40名弱で10人近くの参加ができておりません。実際やってみるとなかなか難しくて最後まで到達できない方もいらっしゃるの、手伝いをしながら参加を促していこうと思います。 2. SNSは引継ぎがうまくいかずFacebook、インスタ(立ち上げできていません)での発信も？でした。 3. 「活動の魅力フォトコンテスト」は、そもそも開催が無くなってしまいました。 4. ロータリーの友・ガバナー月信・クラブ週報については地区補助金活用事業での利用や写真コンテストなど利用に努めました。

来年度はメディアを活用して増強にも努められるよう頑張ります。



◆スマイル報告

〈4件〉

○誕生祝いありがとうございました。定年の基準が60才から65才へと引き上げられた事に伴い、本格的に第2の人生を楽しむ年齢である66才を節目として録寿(ろくじゅ)と定めたそうです。66才になりました。これからもよろしくお願いします。……

…………… 王谷

○出席表彰ありがとうございました。…………… 志村
○上山さん、本日は例会にご参加下さりありがとうございました。来月よりここで又お会い出来る事を楽しみにしています。又、本日は西さん、ご入会おめでとうございます。ロータリーを楽しみましょう。

…………… 久木田

○8年皆勤賞ありがとうございました。9年皆勤目指して頑張ります。…………… 梅北

本日計 15,000円 累計(一般) 339,100円

(財団) 127,343円 (米山) 125,322円

***** ありがとうございます *****

ロータリー国際大会で3万7,000人が台湾に集結

2026年ロータリー国際大会の開会式は、鳴り響く太鼓の轟きで幕を開けました。ステージでは、太鼓奏者が刻む力強いリズムに導かれ、台北の国際色豊かな魅力とロータリーのグローバルな精神を表すかのように、伝統と現代が融合した鮮やかな演出が繰り広げられました。

6月14日、国際ロータリー会長フランチェスコ・アレツツォ氏(イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ会員)が開会式の壇上に立ち、参加者を歓迎しました。会長としての1年間に多くのロータリアンと出会ってきた自身の経験を振り返り、「どこへ行っても、そこで目にしたのは同じ精神でした。言葉も、食べ物も、おもてなしの仕方も違いますが、ロータリーの心は常に同じです」と述べました。「この大会の始まりにあたり、この街と、この“魔法のような島”を楽しんでください。友情を楽しみ、私たちの活動成果を祝い、ロータリーがこれからどのようなのかを夢見てください」

本大会では、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの会員、プログラムの参加者、学友、ゲストが交流や再会を楽しむだけでなく、多彩なオピニオンリーダーが講演します。基調講演者のマララ・ユスフザイ氏は、史上最年少のノーベル平和賞受賞者であり、女子教育の提唱者です。ロータリー平和フェローであるナタリー・エメリー氏は、世界食糧計画(WFP)で人道的緊急事態に直面する国々へのグローバルな指針提供と戦略支援を担当しています。サロメ・アグバロジ氏は、2023-24年全米青少年詩人代表に選ばれたナイジェリア系米国人の詩人です。

開会式では台湾総統の頼清徳氏も挨拶しました。本大会は「まさに歴史的な意義を持つ出来事」であるとし、「世界を台湾に招いてくださった台湾のロータリー会員の皆さん、そしてサポートして下さった国際ロータリーのリーダーの方々に、心より感謝します」と述べました。



週報担当：志村